

# 三重県議会の会期見直しや 福祉医療費助成制度などについて議論

平成19年第4回定例会を、11月28日から12月20日まで23日間の日程で開催し、「平成19年度三重県一般会計補正予算(第2号)」ほか75件の議案を審議しました。

11月28日の開会日には、決算認定議案12件を認定し、知事から上程した議案の提案説明が行われました。

12月3日、5日、7日には、一般質問があり、13名の議員が質問に立ちました。また、7日には決議案と意見書案を1件ずつ可決しました。

10日には、予算決算常任委員会を開催し、平成20年度予算の要求状況の調査、また、12日、13日、14日、17日には、各常任委員会ならびに予算決算常任委員会の分科会を開催し、議案・請願などについて詳細な審査および調査を行いました。さらに18日には、予算決算常任委員会を開催し、議案の審査を行いました。

閉会日の20日には、知事提出議案49件を原案どおり可決したほか、議員提出議案の「三重県議会定例会の招集回数に関する条例の一部を改正する条例案」を追加上程し原案どおり可決しました。また請願6件のうち5件を採択し、1件を不採択とするともに、意見書案6件を可決して閉会しました。

平成19年  
11月28日～  
12月20日



文中の傍線部分については、5ページに用語解説を掲載しております。

## 一般質問

### 消防の広域化

末松 則子議員  
(未来塾/鈴鹿市選出)

### 問

消防の広域化について、県は行政上のスケールメリットを実現することでの利益や効果を示していますが、最も重要な県民サービスがどのように向上するのか明確に示されていません。

県民サービスの向上についてどうお考えか、また、救急救命活動の中での医療機関との連携は広域化の中でどのように議論しているのかお聞かせください。

### 答

広域化によるメリットは、災害時における初動体制の強化、管轄区域の適正化による現場到着時間の短縮、本部機能の統合による現場活動要員の増強などが考えられます。

救急救命活動は、少しでも早い現場到着が求められており、広域化により一定のエリアで行ったほうが、より効率的な活動ができるかと考えます。

その他の質問事項  
○ノリ養殖の振興

ほか



### 地域コミュニティ交通への支援策

北川 裕之議員  
(新政みえ/名張市選出)

### 問

赤字による民間バス路線の廃止を受け、市町運営により継続する場合もあります。利用者減や財政難から運営が難しく、自治会等の協議会での運営による路線維持が模索されています。



名張市コミュニティバス

しかし、採算面で厳しく、支援が必要と考えます。現在は県の運営補助が市町を対象にしており、協議会の運営には適用できません。地域が運営主体でも支援できる制度の創設を望みます。

### 答

県の厳しい財政状況に加え、燃料費の高騰や補助対象路線の増加など、現行制度の維持が困難な状況になりつつあり、見直しが必要な時期にきています。

地域が運営主体となるコミュニティ交通は、生活交通を確立し、育てていく手段と考えられるので、制度の見直しを検討する中で一つの課題とします。

その他の質問事項

○「美し国おこし三重」の進め方 ほか